

「子ども本位」の指導の推進

～ 福岡県独自の指導方法『鍛^{きた}ほめ福岡メソッド』の展開～

教育は、子どもに関わる大人たちが共通の認識に立ち、同じ方向を向いて働きかけるからこそ、その効果が高まるものであり、このような視点からの取組が必要です。

このため、県教育委員会は、学校、家庭、地域が様々な教育課題を共有し、同じ方向を向いて協力し合いながら、子どもの学ぶ意欲や自尊感情、向上心やチャレンジ精神、勤勉性や困難に立ち向かう心など、子どもが自律的に成長するための原動力となる人格的資質を育成するため、「鍛えて、ほめて、子どもの可能性を伸ばす」をコンセプトとした福岡県独自の指導方法『鍛ほめ福岡メソッド』を全県的に広く展開しているところです。

また、これからの学校では、子ども一人一人の特性や学習進度等に応じて、AI学習ソフト等の教材やオンライン学習、VR等を含むICTを活用した手法と、一斉学習や個別学習、グループ別学習、興味・関心に応じた課題学習などの学習形態を様々な組み合わせで実施することにより、個々の子どもにとってより最適な学びを提供していくことが求められます。

本県では、これらの様々な学習活動が、全ての子どもの個々に応じた自律的で主体的な活動となるよう『鍛ほめ福岡メソッド』の手法・考え方を通底させることにより、子どもの「未来社会の創り手」となるための基礎・基本となる様々な資質能力を個別最適かつ効果的に伸ばしていく「子ども本位」の指導を推進します。

■ 「鍛ほめ福岡メソッド」

